

都市再生整備計画 事後評価シート
西京極地区

令和7年2月

京都府京都市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	京都府	市町村名	京都市	地区名	西京極地区			面積	119ha				
交付期間	令和元年度～令和5年度	事後評価実施時期	令和6年度	交付対象事業費	1,315.6	国費率	0.435						
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	たけびしスタジアム京都(陸上競技場兼球技場)芝・舗装等整備										
		提案事業	事業効果分析										
	当初計画から削除した事業	基幹事業	なし	事業名		削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響					
		提案事業	事業効果分析			別事業において実施することとしたため削除		影響なし					
	新たに追加した事業	基幹事業	・たけびしスタジアム京都(陸上競技場兼球技場)メインスタンド内トイレなど諸室改修 ・わかさスタジアム京都(野球場)個席化整備		各運動施設の競技・観戦環境の更なる向上を図るため追加		・わかさスタジアム京都(野球場)個席化整備」事業を追加したことに伴い、施設利用者の更なる増加が見込まれるため、「わかさスタジアム京都における施設稼働率」に関する指標を追加 ・また、それに伴い、目標値を設定						
		提案事業	なし										
交付期間の変更	当初	令和元年度～令和3年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		・計画期間を延長したことに伴い、たけびしスタジアム京都(陸上競技場兼球技場)の改善・充実要望が減少することが見込まれるため、「利用者アンケート調査」に関する目標値を上方修正した。								
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標1	利用者アンケート調査	%	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
	34%	H30	28%	R5	8%	○	あり	芝・舗装等整備、メインスタンド内諸室改修が、施設の改善要望の減少に直接的に貢献したことが明らかになった。また、施設利用者から好意的な御意見を頂く回数が増え、満足度が向上していることも把握できた。					
							なし						
指標2	陸上競技による施設利用回数	回	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
			基準年度	目標年度	モニタリング	評価値							
52回	H30	55回	R3	74回	○	あり	たけびしスタジアム京都(陸上競技場兼球技場)の芝・舗装等整備、メインスタンド内諸室改修後、施設利用者から好意的な御意見を頂く回数が増えたことから、満足度が向上していることを把握できた。そのため、陸上競技による施設利用回数の増加に間接的に貢献したと考える。						
						なし							
指標3	わかさスタジアム京都における施設稼働率	%	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
			基準年度	目標年度	モニタリング	評価値							
52.3%	H30	55%	R5	46%	78.8%	○	あり	わかさスタジアム京都(野球場)の個席化後、施設利用者から好意的な御意見を頂く回数が増えたことから、満足度が向上していることを把握できた。そのため、施設稼働率の向上に間接的に貢献したと考える。					
						なし							
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	その他の数値指標1												
	その他の数値指標2												
	その他の数値指標3												
4) 定性的な効果発現状況													
5) 実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対応方針等					
	モニタリング	わかさスタジアム京都における施設稼働率	都市再生整備計画に記載し、実施できた				●	今後も毎年度の施設稼働率を計測する。					
			都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した										
	官民連携による取組		都市再生整備計画に記載し、実施できた										
都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した													
持続的なまちづくり体制の構築		都市再生整備計画に記載し、実施できた											
		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した											
		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった											

様式2-2 地区の概要

西京極地区(京都府京都市) 都市再生整備計画事業の成果概要

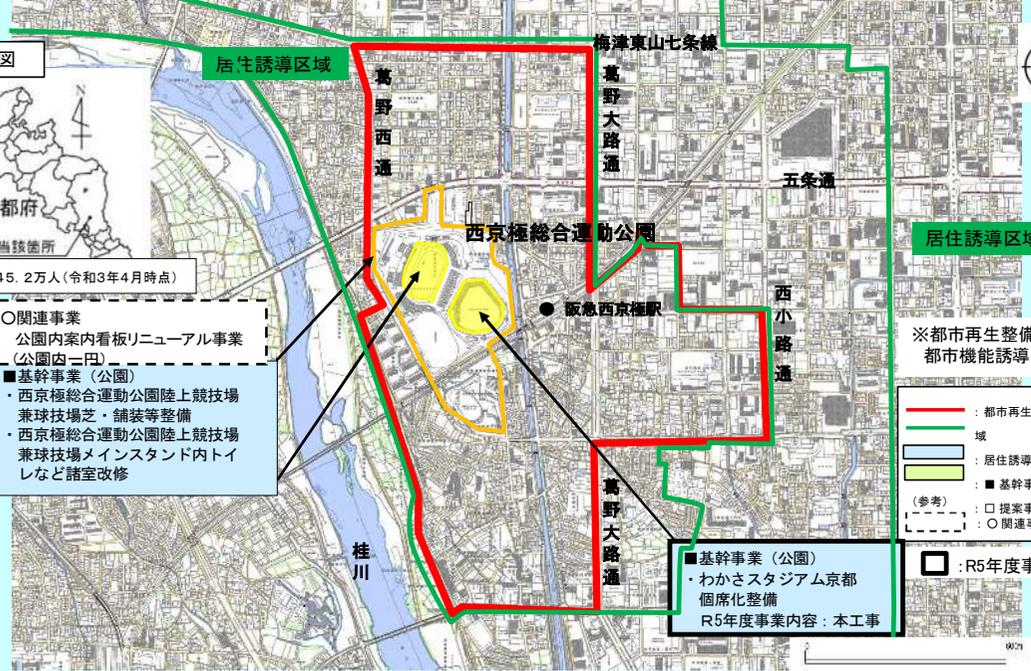
まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値	目標値		評価値	
・西京極総合運動公園を中心とした施設を利用し、スポーツの促進と健康増進の推進に寄与するまちづくりをする。	利用者アンケート調査	単位:%	34% H30	28%	R5	8%	R5
	陸上競技による施設利用回数	単位:回	52回 H30	55回	R3	74回	R3
	わかさスタジアム京都における施設稼働数	単位:%	52.3% H30	55%	R5	78.8%	R5
		単位:	H		R		R
		単位:	H		R		R

芝・舗装等整備



トイレなど諸室改修





周辺図

人口: 145.2万人(令和3年4月時点)

○関連事業
公園内案内看板リニューアル事業(公園内一円)

■基幹事業(公園)
・西京極総合運動公園陸上競技場兼球技場芝・舗装等整備
・西京極総合運動公園陸上競技場兼球技場メインスタンド内トイレなど諸室改修

■基幹事業(公園)
・わかさスタジアム京都
・個席化整備
R5年度事業内容: 本工事

※都市再生整備計画区域内は、都市機能誘導区域外である。

—: 都市再生整備計画の区域
—: 居住誘導区域
■: 基幹事業
□: 提案事業
○: 関連事業
□: R5年度事業箇所

個席化整備



まちの課題の変化

- ・たけびしスタジアム京都(陸上競技場兼球技場)の芝・舗装等整備を実施し、競技環境が向上した。また、それにより、公益財団法人日本陸上競技連盟の第1種公認を継続することができた。
- ・わかさスタジアム京都(野球場)の個席化整備を実施し、観戦環境が向上した。
- ・一方で、本公園を核とした西京極地区の賑わい創出にまでは至っていない。
- ・また、本公園は京都市地域防災計画において広域避難場所として位置付けられているほか、公園に隣接する市民スポーツ会館が指定避難所及び指定緊急避難場所(水害)に位置付けられているなど、当該地区は地域防災の核であるが、十分に対応しきれていない。

今後のまちづくりの方策(改善策を含む)

- ・スポーツ拠点としての機能向上のため、各施設について現在の基準やニーズに対応するよう、バリアフリー対応や照明LED化などの整備を実施する。
- ・西京極総合運動公園を核とした賑わいを創出するため、スポーツを目的とする来園者のみならず、幅広い市民が集い憩える場となるよう、キッズエリア整備、広場への大屋根設置、園内イベントの実施などに取り組む。
- ・公園の利用環境の向上のため、園内公衆トイレ改修工事や公園誘導サイン設置などの必要な整備を実施する。
- ・防災機能を強化し、災害時における地域住民の避難受入れ等に十分対応できるよう、公園誘導サイン設置、非常用発電設備整備などの必要な設備の整備を実施する。

都市再生整備計画 事後評価シート (添付書類)

(1) 成果の評価

- 添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無
- 添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(完成状況)
- 添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況
- 添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)により計測される効果発現の計測
- 添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

(2) 実施過程の評価

- 添付様式3-① モニタリングの実施状況
- 添付様式3-② 官民連携による取組みの実施状況
- 添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

(3) 効果発現要因の整理

- 添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制
- 添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理
- 添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

(4) 今後のまちづくり方策の作成

- 添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制
- 添付様式5-② まちの課題の変化
- 添付様式5-③ 今後のまちづくり方策
- 添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見
- 添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画
- 添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方
- 添付様式6-参考記述 今後、都市再生整備計画事業の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

(5) 事後評価原案の公表

- 添付様式7 事後評価原案の公表

(1) 成果の評価

添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無

	変更		変更前	変更後	変更理由
	あり	なし			
A. まちづくりの目標		●			
B. 目標を定量化する指標	●		利用者アンケート調査、陸上競技による施設利用回数	利用者アンケート調査、陸上競技による施設利用回数、わかさスタジアム京都における施設稼働率	「わかさスタジアム京都(野球場)個席化整備」事業を追加したことに伴い、施設利用者の更なる増加が見込まれるため、「わかさスタジアム京都における施設稼働率」に関する指標を追加
C. 目標値	●		30%、55回	28%、55回、55%	<ul style="list-style-type: none"> ・計画期間を延長したことに伴い、たけびしスタジアム京都(陸上競技場兼球技場)の改善・充実要望が減少することが見込まれるため、「利用者アンケート調査」に関する目標値を上方修正 ・「わかさスタジアム京都における施設稼働率」に関する指標を追加したことに伴い、目標値を設定
D. その他()		●			

添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業									
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
道路									
公園	西京極総合運動公園	1,200	たけびしスタジアム 京都(陸上競技場兼 球技場)芝・舗装等 整備	1,315.6	・たけびしスタジアム 京都(陸上競技場兼 球技場)芝・舗装等 整備、メインスタンド 内トイレなど諸室改 修 ・わかさスタジアム京 都(野球場)個席化	・「たけびしスタジアム京都(陸上競 技場兼球技場)メインスタンド内トイ レなど諸室改修」事業の追加 ・「わかさスタジアム京都(野球場) 個席化整備」事業の追加	・「わかさスタジアム京都(野球場)個席化整備」事業を追加したこと に伴い、施設利用者の更なる増加が見込まれるため、「わかさスタ ジアム京都における施設稼働率」に関する指標を追加 ・また、それに伴い、目標値を設定	●	
河川									
下水道									
駐車場有効利 用システム									
地域生活基盤 施設									
高質空間形成 施設									
高次都市施設									
既存建造物活 用事業									
都市再生交通 拠点整備事業									
土地区画整理 事業(都市再 生)									
住宅市街地 総合整備事業									

※1:事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業									
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
地区再開発事業									
バリアフリー環境整備事業									
優良建築物等整備事業									
住宅市街地総合整備事業									
街なみ環境整備事業									
住宅地区改良事業等									
都心共同住宅供給事業									
公営住宅等整備									
都市再生住宅等整備									
防災街区整備事業									

※1:事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況

指標	データの計測手法と評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、対象、具体手法等)	単位	(参考)※1 計画以前の値 (ア)	従前値 (イ)		目標値 (ウ)		数値(エ)			目標達成度※2		1年以内の達成見込みの有無			
				基準年度	基準年度	基準年度	目標年度	モニタリング	事後評価	達成見込み	モニタリング	事後評価	達成見込み	あり	なし	
指標1	利用者アンケート調査	%	事業効果検証のため、整備完了後に陸上競技場兼球技場を改善・充実してほしいという要望についてのアンケート調査を実施する。		34%	H30	28%	R5	モニタリング			モニタリング				
									事後評価	確定見込み	○	8%	事後評価	○		
指標2	陸上競技による施設利用回数	回	事業効果検証のため、陸上競技場兼球技場における陸上競技による施設利用回数を計測する。		52回	H30	55回	R3	モニタリング			モニタリング				
									事後評価	確定見込み	○	74回	事後評価	○		
指標3	わかさスタジアム京都における施設稼働率	%	事業効果検証のため、わかさスタジアム京都における施設稼働率を計測する。		52.3%	H30	55%	R5	モニタリング	R3	46%	モニタリング	×			
									事後評価	確定見込み	○	78.8%	事後評価	○		
指標4									モニタリング			モニタリング				
									事後評価	確定見込み			事後評価			
指標5									モニタリング			モニタリング				
									事後評価	確定見込み			事後評価			

指標	目標達成度○△×の理由 (達成見込み「あり」とした場合、その理由も含む)	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題等)
指標1	事後評価の時点で数値目標を達成したため	
指標2	事後評価の時点で数値目標を達成したため	
指標3	事後評価の時点で数値目標を達成したため	モニタリングを実施したR3においては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けていると考えられ、正確な数値でない可能性がある。
指標4		
指標5		

※1 計画以前の値とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

※2 目標達成度の記入方法

○: 評価値が目標値を上回った場合

△: 評価値が目標値には達していないものの、近年の傾向よりは改善していると認められる場合

×: 評価値が目標値に達しておらず、かつ近年の傾向よりも改善がみられない場合

添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現の計測

指 標	単位	データの計測手法と 評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、 対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		数値(ウ)		本指標を取り上げる理由	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題 等)
			基準 年度	基準 年度	基準 年度	基準 年度	モニタリング	事後評価		
その他の 数値指標1							モニタリング			
							事後評価	確定 見込み		
その他の 数値指標2							モニタリング			
							事後評価	確定 見込み		
その他の 数値指標3							モニタリング			
							事後評価	確定 見込み		

※1 計画以前の値 とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

(2) 実施過程の評価

・本様式は、都市再生整備計画への記載の有無に関わらず、実施した事実がある場合には必ず記載すること。

添付様式3-① モニタリングの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
わかさスタジアム京都における施設稼働率	予定どおり実施した	【実施頻度】毎年度1回 【実施時期】毎年度5～6月頃(前年度の数値が確定次第) 【実施結果】施設稼働率は毎年度計測しているため、効率的にモニタリングすることができた。	今後も毎年度の施設稼働率を計測する。
	予定はなかったが実施した ●		
	予定したが実施できなかった(理由)		
	予定どおり実施した		
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった(理由)		

添付様式3-② 官民連携による取組の実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
	予定どおり実施した		
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった(理由)		
	予定どおり実施した		
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった(理由)		

添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	構築状況	実施頻度・実施時期・実施結果		今後の対応方針等
		i. 体制構築に向けた取組内容	ii. まちづくり組織名:組織の概要	
	予定どおり実施した			
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった(理由)			
	予定どおり実施した			
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった(理由)			

(3) 効果発現要因の整理

添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
事後評価検討チーム	市民スポーツ振興室(スポーツ施設課長、公民連携型整備推進担当課長、担当係長)	令和6年12月27日	市民スポーツ振興室(スポーツ施設担当)

添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種別		指標1		指標2		指標3		指標〇	
指標名		利用者アンケート調査		陸上競技による施設利用回数		わかさスタジアム京都における施設稼働率			
種別	事業名・箇所名	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見
基幹事業	西京極総合運動公園(たけびしスタジアム京都(陸上競技場))	◎	芝・舗装等整備、メインスタンド内諸室改修が、施設の改善要望の減少に直接的に貢献したことが明らかになった。また、施設利用者から好意的な御意見を頂く回数が増え、満足度が向上していることも把握できた。	○	たけびしスタジアム京都(陸上競技場兼球技場)の芝・舗装等整備、メインスタンド内諸室改修後、施設利用者から好意的な御意見を頂く回数が増えたことから、満足度が向上していることを把握できた。そのため、陸上競技による施設利用回数の増加に間接的に貢献したと考える。	-	わかさスタジアム京都(野球場)の個席化後、施設利用者から好意的な御意見を頂く回数が増えたことから、満足度が向上していることを把握できた。そのため、施設稼働率の向上に間接的に貢献したと考える。		
		西京極総合運動公園(わかさスタジアム京都(野球場))		-		-		○	
提案事業									
関連事業	公園内案内看板リニューアル事業(公園内一円)	-		-		○			

※指標改善への貢献度

- ◎：事業が効果を発揮し、指標の改善に直接的に貢献した。
- ：事業が効果を発揮し、指標の改善に間接的に貢献した。
- △：事業が効果を発揮することを期待したが、指標の改善に貢献しなかった。
- ：事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

今後の活用	今後施設利用者の意見に耳を傾け、利用環境の向上を図る。	今後施設利用者の意見に耳を傾け、利用環境の向上を図る。	今後施設利用者の意見に耳を傾け、利用環境の向上を図る。

添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種別		指標○			指標○			指標○			指標○		
指標名													
種別	事業名・箇所名	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類									
基幹事業													
提案事業													
関連事業													

※目標未達成への影響度

- ××：事業が効果を発揮せず、指標の目標未達成の直接的な原因となった。
- ×：事業が効果を発揮せず、指標の目標未達成の間接的な原因となった。
- △：数値目標が達成できなかった中でも、ある程度の効果をあげたと思われる。
- ー：事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

※要因の分類

- 分類Ⅰ：内的な要因で、予見が可能な要因。
- 分類Ⅱ：外的な要因で、予見が可能な要因。
- 分類Ⅲ：外的な要因で、予見が不可能な要因。
- 分類Ⅳ：内的な要因で、予見が不可能な要因。

改善の方針 (記入は必須)			
------------------	--	--	--

(4) 今後のまちづくり方策の作成

添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
西京極総合運動公園等整備・運営検討チーム (西京極第2期計画検討チーム)	市民スポーツ振興室(公民連携型整備推進 担当 課長、担当係長)	令和6年度～	市民スポーツ振興室

添付様式5-② まちの課題の変化

事業前の課題 都市再生整備計画に記載 したまちの課題	達成されたこと(課題の改善状況)	残された未解決の課題	事業によって発生した 新たな課題
令和2年度に公認期限を迎える公益財団法人日本陸上競技連盟の第1種公認の継続のためには、舗装劣化等の改善や芝の盛り上がりの是正を行う必要があった。	・芝・舗装等整備を実施し、第1種公認が継続した。		・本計画の実施により、西京極総合運動公園内の運動施設の競技・観戦環境の向上については一定の効果発現が確認できたが、本公園を核とした西京極地区の賑わい創出にまでは至っていない。 ・また、本公園は京都市地域防災計画において広域避難場所に位置付けられているほか、公園に隣接する市民スポーツ会館が指定避難所及び指定緊急避難場所(水害)に位置付けられているなど、当該地区は地域防災の核であるが、十分に対応しきれしていない。
わかさスタジアム京都における内野席の一部がベンチタイプの座席となっており、時代のニーズに即した観戦環境が整っていなかった。	・内野席の個席化整備を実施し、観戦環境が向上した。		
園内公衆トイレの著しい老朽化により雨漏り等が発生し、改善要望が利用者から上がっている等、早急な改善が必要な状況であった。		・園内公衆トイレの改修については、未着手となっている。	

これを受けて、成果の持続にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③A欄に記入します。

これを受けて、改善策にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③B欄に記入します。

添付様式5-③ 今後のまちづくり方策

A欄 効果を持続させるため に行う方策	効果の持続を図る事項	効果を持続させるための基本的な考え方	想定される事業
	各運動施設の競技・観戦環境の向上	・スポーツ拠点としての機能向上のため、各施設について現在の基準やニーズに対応するよう、整備を実施する。	・バリアフリーへの対応 ・照明のLED化

B欄 改善策	改善する事項	改善策の基本的な考え方	想定される事業
	西京極総合運動公園を核とした賑わい創出	・スポーツを目的とする来園者のみならず、幅広い市民が集い・憩える場とするための整備やイベントを実施する。	・キッズエリアの整備 ・広場への大屋根の設置 ・園内イベントの実施
	公園の利用環境の向上	・公園の利用環境の向上のため、必要な整備を実施する。	・園内公衆トイレの改修工事 ・公園誘導サインの設置
	防災機能の強化	・災害時における地域住民の避難受入れ等に十分対応できるよう、必要となる設備等の整備を実施する。	・公園誘導サインの設置 ・非常用発電設備の整備

フォローアップ又は次期計画等
において実施する改善策
を記入します。

なるべく具体的に記入して下さい。

■様式5-③の記入にあたっては、下記の事項を再確認して、これらの検討結果を踏まえて記載して下さい。(チェック欄)

●	交付金を活用するきっかけとなったまちづくりの課題(都市再生整備計画)を再確認した。
●	事業の実施過程の評価(添付様式3)を再確認した。
●	数値目標を達成した指標にかかる効果の持続・活用(添付様式4-②)を再確認した。
●	数値目標を達成できなかった指標にかかる改善の方針(添付様式4-③)を再確認した。
●	残された課題や新たな課題(添付様式5-②)を再確認した。

添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見

子ども・若者から高齢者まで誰もが集い、交流できる活力のあるまちとしての機能強化に当たっては、PFI事業等による民間活力の導入による効果的・効率的な事業推進を検討する必要がある。

添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画

- ・フォローアップの要否に関わらず、添付様式2-①、2-②に記載した全ての指標について記入して下さい。
- ・従前値、目標値、評価値、達成度、1年以内の達成見込みは添付様式2-①、2-②から転記して下さい。

・評価値が「見込み」の全ての指標、目標達成度が△又は×の指標、1年以内の達成見込み「あり」の指標について、確定値を求めるためのフォローアップ計画を記入して下さい。

指標		単位	従前値		目標値		評価値		目標達成度	1年以内の達成見込みの有無	フォローアップ計画			
			年度	年度	年度	年度	確定	見込み			予定時期	計測方法	その他特記事項	
指標1	利用者アンケート調査	%	34	H30	28	R5	確定 ○	見込み	8%	○	あり			
指標2	陸上競技による施設利用回数	回	52	H30	55	R3	確定 ○	見込み	74回	○	あり			
指標3	わかさスタジアム京都における施設稼働率	%	52.3	H30	55	R5	確定 ○	見込み	78.8%	○	あり			
指標4				H		H	確定	見込み			あり			
指標5				H		H	確定	見込み			あり			
その他の数値指標1				H			確定	見込み						
その他の数値指標2				H			確定	見込み						
その他の数値指標3				H			確定	見込み						

添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方

・下表の点について、特筆すべき事項を記入します。

項目		要因分析	次期計画や他地区への活かし方
数値目標 ・成果の達成	うまくいった点	・モニタリングを実施したことにより、施設稼働率の推移を確認することができた。	・目標達成状況について、その推移も含めて確認できるよう、引き続きモニタリング等を実施する。
	うまくいかなかった点		
数値目標と 目標・事業との 整合性等	うまくいった点		・事業効果を十分に検証できるよう、事業効果を直接的に測ることができる目標を設定する(例：施設整備の効果指標として、施設整備による施設利用者の増加数とする等)。
	うまくいかなかった点	・たけびしスタジアム京都(陸上競技場兼球技場)及びわかさスタジアム京都(野球場)の整備が施設利用者の満足度向上に貢献していることは把握できたが、数値目標との関連が曖昧で、事業の効果を適切に確認するための指標としてはやや不十分であった。	
住民参加 ・情報公開	うまくいった点	・アンケート調査の実施や、施設利用者からの意見により、要望を適切に把握することができた。	・市民アンケートや施設利用者への意見聴取を引き続き実施し、ニーズの把握に努めていく。
	うまくいかなかった点		
PDCAによる事業 ・評価の進め方	うまくいった点	・施設稼働率は毎年度計測しているため、効率的かつ容易にモニタリングすることができた。	・事業効果を直接的に測ることができる目標を設定するとともに、目標達成状況についてモニタリング等により定期的に点検する。
	うまくいかなかった点	・事業の効果を適切に確認するための指標(数値目標)を設定する必要がある。	
その他	うまくいった点		
	うまくいかなかった点		

添付様式6ー参考記述 今後、都市再生整備計画事業の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

西京極地区(第2期)※当該地区の次期計画

(5) 事後評価原案の公表

添付様式7 事後評価原案の公表

公表方法	具体的方法	公表期間・公表日	意見受付期間	意見の受付方法	担当部署
インターネット	本市のウェブページに掲載	令和7年1月15日～1月29日	令和7年1月15日～1月29日	担当課への電話、 FAX、電子メール	市民スポーツ振興室 (スポーツ施設担当)
広報掲載・回覧・個別配布					
説明会・ワークショップ					
その他					

住民の意見	<p>【良いと感じた点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・改修により競技者の満足度が向上した点 ・たけびしスタジアム スタンドの一部一般開放 <p>【改善要望】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東寺ハウジングフィールド(サブトラック)及び公園内のトイレ整備 ・公園外周の道幅確保、街灯の拡充 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公園外周での散歩、ランニング、東寺ハウジングフィールド開放日の利用、健康器具など、地域住民は今回改修された箇所以外の活用が多いと考える。 ・公園公衆トイレ、東寺ハウジングフィールド内トイレは非常に汚いため、自動洗浄便器、照明の整備などをしてほしい。 ・外周南端部(東寺ハウジングフィールド付近)の道幅が特に狭く、人通りもあり危険
-------	---

都市再生整備計画

にしきょうごく
西京極地区

きょうとふ きょうとし
京都府 京都市

(第4回変更)

令和5年8月

事業名	確認
都市構造再編集集中支援事業	<input checked="" type="checkbox"/>
都市再生整備計画事業	<input type="checkbox"/>
まちなかウォークアブル推進事業	<input type="checkbox"/>

目標及び計画期間

様式(1)-②

都道府県名	京都府	市町村名	京都市	地区名	ニシキョウヨクテク 西京極地区	面積	119	ha
-------	-----	------	-----	-----	--------------------	----	-----	----

計画期間	令和	元	年度	～	令和	5	年度	交付期間	令和	元	年度	～	令和	5	年度
------	----	---	----	---	----	---	----	------	----	---	----	---	----	---	----

目標

- 西京極総合運動公園を中心とした施設を利用し、スポーツの促進と健康増進の推進に寄与するまちづくりをする。

目標設定の根拠

都市全体の再編方針(都市機能の拡散防止のための公的不動産の活用を考え方を含む、当該都市全体の都市構造の再編を図るための方針) ※都市構造再編集中支援事業の場合に記載すること。それ以外の場合は本欄を削除すること。
 これまでの「保全・再生・創造」の土地利用を基本とし、「京都市都市計画マスタープラン」の考え方を踏まえ、市内各地域それぞれの関係性なども考慮しながら、市内全体を5つのエリア(広域拠点エリア、地域中核拠点エリア、日常生活エリア、ものづくり産業集積エリア、緑豊かなエリア)に分類し、各エリアの将来像を市民・事業者・行政が共有してまちづくりを進めます。
 定住人口の求心力となる周辺部等の拠点である西京極地区において、運動公園を中心とした施設の更新や改修が図られることにより、スポーツ活動を通して、にぎわいや交流が生まれ魅力や活力のあるまちづくりを目指していく。
 <(参考)京都市持続可能な都市構築プラン>

<経緯>

西京極総合運動公園は、昭和天皇御成婚奉祝記念事業として総合運動公園の建設が計画され、第1期工事が昭和8年に竣工、第2期工事が同19年5月に完成した。戦後、昭和21年には、第1回国民体育大会が開催され、一時進駐軍に接収されていたが、昭和26年に接収が解除されるとともに各競技場の再整備を行い、陸上競技場は第二種公認、水上競技は甲種公認として発足した。その後、昭和57年から全面改修工事を行い、昭和63年の京都国体や身体障害者スポーツ大会では主会場となり、全国高校駅伝など全国規模の大会も開催されている。

また、主な施設として、府内唯一の第1種公認陸上競技場である「陸上競技場兼球技場」、府内最大規模のスタンド席を持つ野球場「わかさスタジアム京都」、京都ハンナリーズのホームアリーナである「京都市体育館」、府内唯一の50m国際公認プール「京都アクアリーナ」等府内唯一の規模を誇る施設が集積している。また、このような施設を利用した大きな大会が開催されるだけでなく、市民のスポーツ活動や散策の場であり、特に近隣住民の憩いの場として広く利用されている。

<現況>

- 本市では、平成28年3月に策定した「はばたけ未来へ！京(みやこ)プラン後期実施計画2016-2020」の中で、運動公園の整備などスポーツ施設の充実として、西京極総合運動公園等の公園整備を掲げており、週1回以上の運動の推進やスポーツ観戦の充実を目標としている。そのため、特に周辺住民のスポーツに触れ合う機会を増やし、結果として健康の増進を推進している。
- 西京極総合運動公園においては、令和4年度のワールドマスターズゲームズ2021関西における陸上競技の開催が決定している。
- 陸上競技場兼球技場は、府下で唯一、公益財団法人日本陸上競技連盟から第1種公認を受けた施設であり、令和2年に公認期限を迎えるため、舗装劣化等の改善や芝の盛り上がりの是正を行うなど、公認継続に向けた陸上競技場兼球技場の再整備を進めていく。

課題

- 令和2年度に公認期限を迎える公益財団法人日本陸上競技連盟の第1種公認の継続のためには、舗装劣化等の改善や芝の盛り上がりの是正を行う必要がある。
- わかさスタジアム京都において、内野席の一部がベンチタイプの座席となっており、時代のニーズに即した観戦環境が整っていない。

将来ビジョン(中長期)

【総合計画】

- 平成28年3月に策定した「はばたけ未来へ！京(みやこ)プラン後期実施計画2016-2020」の、いのちとくらしを守る戦略を推進する柱の一つである「社会参加、身体活動・スポーツ、豊かな食生活などにより健やかで生きがいを実感できる健康長寿のまちづくり」を推進する。
- 平成28年3月に策定した「京都市市民スポーツ振興計画」における「スポーツの絆が生きるまち」の実現に向け、「する・みる・支える」の観点から、スポーツに親しめる環境づくりを推進する。
- 平成29年3月に策定した「京都市庁舎施設マネジメント計画」(公共施設等総合管理計画に基づく施設類型別計画)における「上質で価値の高い公共施設の構築による京都のまちの活性化や市民生活の質の向上等の実現」のために計画的な改修を推進する。

都市構造再編集中支援事業の計画 ※都市構造再編集中支援事業の場合に記載すること。それ以外の場合は本欄を削除すること。

都市機能配置の考え方

- ・西京極地区については、「京都市持続可能な都市構築プラン」の地域中核拠点エリアに位置している(居住誘導区域)
- ・地域中核拠点エリアでは、以下のような将来像と暮らしのイメージを掲げている。
『時代の変化に応じて、ニーズに合わなくなった建物の更新や改修が図られるとともに、にぎわいや交流が生まれる憩いの空間が生み出されるなど、まちの魅力や活力が維持・向上している。』

都市再生整備計画の目標を達成するうえで必要な誘導施設の考え方

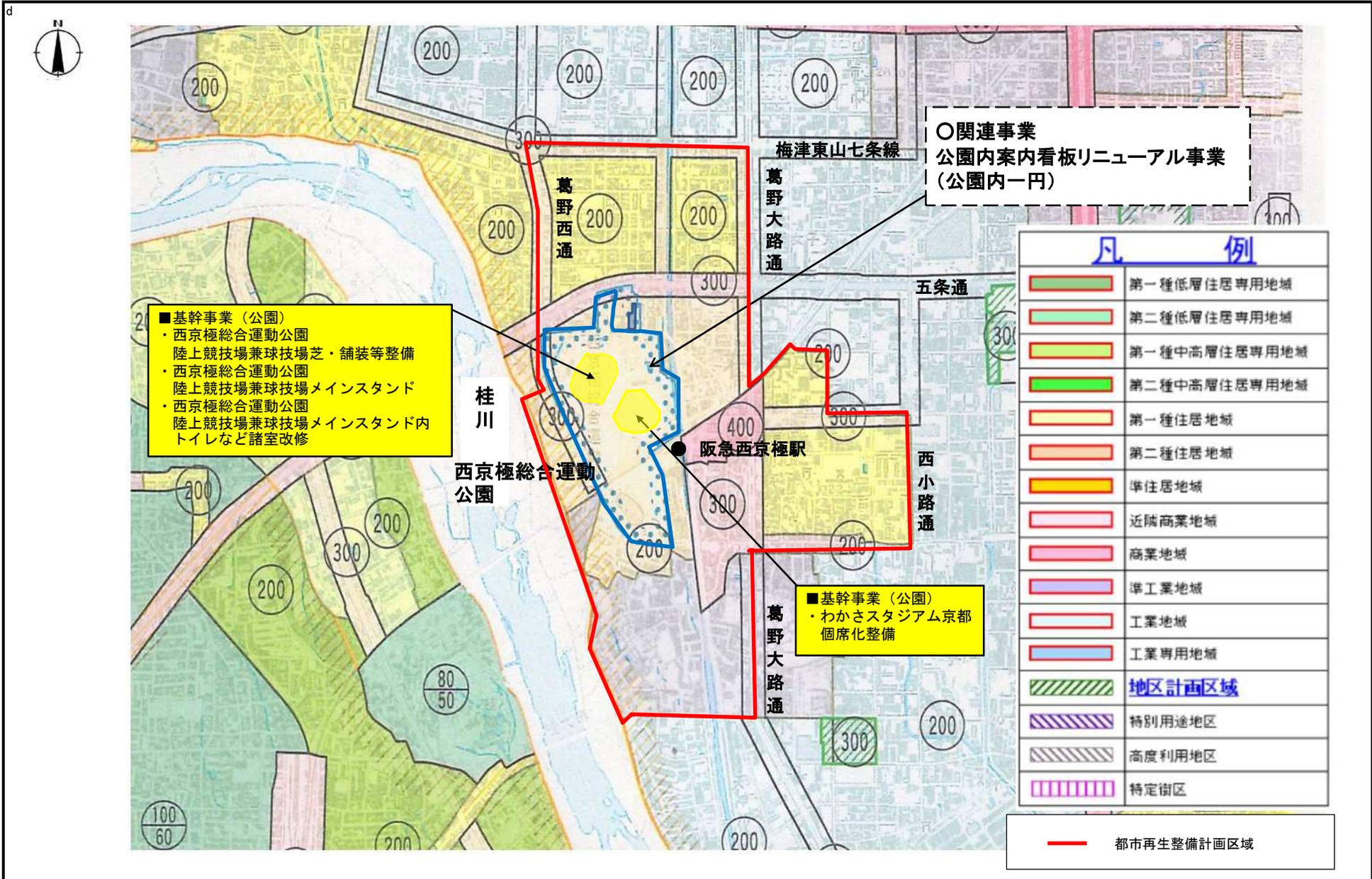
都市の再生のために必要となるその他の交付対象事業等

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	目標値		
				基準年度	目標年度	基準年度	目標年度
利用者アンケート調査	%	陸上競技場兼球技場を改善・充実してほしいという要望の割合	施設整備による競技・観戦環境の向上に伴う、公園・施設利用機会の増加	34%	28%	H30	R5
陸上競技による施設利用回数	回	陸上競技に関する施設利用回数(回/年)	陸上競技場兼球技場の走路・芝整備によるスポーツの推進に向けた大会の開催数の増加	52回	55回	H30	R3
わかさスタジアム京都における施設稼働率	%	わかさスタジアム京都の施設稼働率	スポーツの推進に向けた施設稼働率の増加	52.3%	55%	H30	R5

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>○西京極総合運動公園を中心とした施設を利用し、スポーツの促進と健康増進を推進するまちづくりをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・陸上競技場内の芝・舗装等を再整備することにより、日本陸連の第1種公認を更新し、引き続き、全国高等学校駅伝競走大会や皇后盃全国都道府県対抗女子駅伝競走大会などの大規模スポーツ大会の誘致や開催を行い、特に地域住民の観戦の機会を増やすことにより、スポーツ活動の意識の向上を図り、健康の増進につなげる。 ・わかさスタジアム京都において、観戦環境の向上を目的とし、個席化改修を行う。 	<p>【基幹事業】西京極総合運動公園芝・舗装等整備 西京極総合運動公園陸上競技場兼球技場メインスタンド内トイレなど諸室改修 わかさスタジアム京都個席化改修</p> <p>【関連事業】公園内案内看板リニューアル事業</p>
その他	

<p>西京極地区(京都府京都市)</p>	<p>面積 119 ha</p>	<p>区域 京都市右京区西京極午塚町, 北大入町, 葛野町, 郡町, 南大入町, 東大丸町, 新明町, 野田町, 西大丸町, 畔勝町, 豆田町, 堤町, 新田町, 古浜町, 西団子町, 徳大寺団子田町, 郡醍醐田町, 堤外町, 沢町, 猪馬場町, 西池田町, 西川町, 東池田町, 北裏町, 町ノ坪町, 宮ノ東町, 三反田町, 中町, 東町, 大門町, 河原町, 東側町, 西向河原町, 敷開町, 敷ノ下町, 長町, 橋詰町, 走リ上町, 火打畑町, 堤外町, 芝ノ下町, 東向河原町, 西院六反田町</p>
----------------------	------------------	--



西京極地区(京都府京都市) 整備方針概要図(都市構造再編集中支援事業)

目標	西京極総合運動公園を中心とした施設を利用し、スポーツの促進と健康増進を推進に寄与するまちづくりを推進する。	代表的な指標	利用者アンケート調査 (%)	34 (H30年度) →	28 (R5年度)
			陸上競技による施設利用回数 (回)	52 (H30年度) →	55 (R3年度)
			わかさスタジアム京都における施設稼働率 (%)	52.3 (H30年度) →	55 (R5年度)

